

CONTENTS	臨床検査技師を知っていただくために！〔姫路赤十字病院の取り組み〕	1
	地域貢献賞を受賞して、兵臨技新人研修会が開催されました、新人研修会に参加して、第41回西播地区研究発表会・第12回医療公開講座に参加して、#研究班(血液研究班)	2～3
	[第4回] 突撃! とんりの検査室(兵庫県立尼崎総合医療センター)	4
	会員グルメ情報	5

臨床検査技師を知っていただくために！

姫路赤十字病院の取り組み

姫路赤十字病院は、明治41年(1908年)に創立し、33診療科、560床の歴史のある高度急性期を担う総合病院です。地域の中核病院として、地域医療機関と密接に連携し、高度専門医療を担っています。検査技術部は、51名のスタッフが在職し検体検査部門・輸血検査部門・生理検査部門・病理検査部門で構成されています。2019年11月に ISO 15189の認証を取得し、日々の品質向上を目指して頑張っています。改めて、「当院がどういった取り組みを通して臨床検査技師の存在を知っていただいているか」を紹介します。

※施設、本人ともに撮影・広報誌への掲載許可をいただいています

●病院のしごと体験ツアー



近隣の小学生を対象に職業体験として臨床検査技師の仕事を紹介しました。この時は、実際に簡易血糖測定器で身近な食べ物である、葡萄に含まれるブドウ糖を調べたり、血液を顕微鏡で一緒に見て説明したりしました。子供達も興味深々で、検査を身近に感じていただく機会になりました。地元のテレビ局も取材に来ています。

●トライやるウィーク

当院では、中学生が職業体験として、検査技術部に見学に来ています。病院の裏側で頑張っている臨床検査技師の仕事を知っていただきました。これは、生化学検査と病理検査の見学に来た時の写真です。



●基礎看護学実習



病院附属の姫路赤十字看護専門学校生が院内の部署を訪問しますが、検査技術部にも毎年のように、看護学生が質問に来ています。熱心に検査のことについて質問している姿が印象的でした。

他にも「臨床検査技師の仕事紹介」として、技師長が近隣の高校へ出向き、臨床検査技師の仕事を紹介しています。(文責 住ノ江)

地域の活動を通して、臨床検査技師が活躍している姿をみていただき、多くの方が臨床検査技師の存在を知り、将来臨床検査技師を目指す若者が増えてくれればと思っています。同じ活動を行っている施設は、是非とも広報までお知らせください。(広報部)



地域貢献賞を受賞して

丸岡 康子 会員 (西宮市医師会診療所)

この度は、日本臨床衛生検査技師会より地域貢献賞を賜り、受賞に際し推薦いただきました兵庫県臨床検査技師会をはじめ、皆様にご心より感謝申し上げます。

医師会立の病院、検査健診センター（以下：医師会共同利用施設）が地域に寄り添った活動を積極的に行っており、今回の受賞は医師会共同利用施設検査健診管理者会でも励みになり祝福していただきました。これまで、地域の行政健診（検診）や学童検診、特定健診などに従事してまいりました。特に、新型コロナウイルス感染拡大時には、PCRセンターの運営を行い、学校、介護施設、障害者施設などの検査に昼夜問わず対応しました。

また、平成2年から、故・水田亘先生や大川二郎先生が携わってこられた、兵庫県の衛生検査所の精度管理事業の解析に関わり、検査方法の標準化や共用基準範囲の設定に携わってきました。その後、検査データの標準化（IT化）に関する国の実証研究事業にも参画し地域医療で活用される基礎的な分野に貢献できたことは光栄なことだと思います。

このような活動に携われたのも周りの方々のご理解と協力があつたからと深く感謝申し上げます。

最後に、兵庫県臨床検査技師会の益々のご発展を祈念し感謝の言葉といたします。



丸岡 康子 会員



組 織

兵臨技新入会員研修会が開催されました

【新人会員研修会】

2024年8月10日（土）兵臨技研修センターにおいて、新入会員研修会が開催されました。今年度は兵庫県看護協会の北野貞先生により”新人に知っておいてほしい患者心理と接遇”と題して講演を頂きました。

患者さんと医療者との信頼関係を築く基本となる「接遇」の意味を理解すること、自分にできる「接遇」を考えることを目的として講演が進められました。同時に、グループワークを交えながら患者さんが病院に望むこと、患者満足度を高めるための接遇などについて考える良い機会となりました。

また、ビデオを用いて日常に潜む間違い・インシデントをグループディスカッション形式で学習でき、出席された新入会員の皆さんが明日から使える知識となったと思われます。

【施設交流会・歓迎会】

研修会終了後、兵臨技主催の新入会員歓迎会が開催され、新入会員を含め多くの方々に参加されました。

新入会員一人一人の自己紹介をはじめ、執行部の紹介などがありました。歓迎会での表情は研修会時の緊張した表情とは打って変わり、多くの笑顔で埋め尽くされ、幸せな雰囲気に包まれていました。席を移動したり、連絡先を交換する様子なども見られ、非常に有意義な懇親会となりました。

これから、様々な学会や懇親会に参加する事で、今回出会った会員含め多くの方々とお会いできる良い機会にもなるので、ぜひ今回の経験を活かして多くの方々との繋がりを大切に頂ければ幸いです。

(文責 広報部高田)



兵臨技新入会員研修会に参加して

中山 知波 会員 (兵庫医科大学病院)

今回の新人会員研修会に参加させていただいたことにより、まだまだ慣れない環境と生活の中での不安や、技師としての今後の展望などを同じ新人会員の皆様と共有することができる機会となり、とても密度の濃い時間を過ごすことができました。患者心理と接遇では看護協会の方に臨床での経験をもとに講演していただいたため、社会人としてだけでなく、医療従事者としてのプラスアルファの接遇を学ぶことができました。グループワークでは最初は緊張感を互いに感じ合っている雰囲気でしたが、アイスブレイクから始まり、インシデントについてのディスカッションを重ねていくにつれて些細なことから共通点がどんどん見つかり、打ち解けたことによって施設間で有意義な意見交換の時間となりました。

我々はまだ臨床検査技師として半年も満たないのでわからないことの方が多いですが、このような研修会のように他施設交流という横とのつながりを大切に、今後さらに発展していく医療・技師の成長にともなって私たちの世代から積極的に学びの姿勢を示していきたいと感じる1日となりました。最後にお忙しい中、このような会を主催していただき、ありがとうございました。

第41回西播地区研究発表会・第12回医療公開講座に参加して

加々良 美吹 会員（姫路赤十字病院）

7月21日に開催された「第41回西播地区研究発表会」に参加しました。

一般演題（8演題）では、貴重な症例や機器導入の検討、検査室での取り組みや運用について幅広い分野での発表を聞くことができ、様々な学びが得られ、大変有意義な時間を過ごせました。

医療公開講座では、臨床検査技師という職業を一般の方々に知っていただくという貴重な場であるとともに、私自身もとてもわかりやすく興味深いお話を聞くことができました。

また、今回は数年ぶりに分科会が開催され、他施設の皆様と交流が持てました。臨床検査技師として働き始めて2年目の私にとって、普段の業務の中で疑問に思っていることや対応方法についての悩みがたくさんあり、同じ分野の方々に日常業務における様々な助言をいただくことができました。

今回の西播地区研究発表会で得た知識や工夫を生かし、今後の業務に取り組んでいこうと思います。

第41回西播地区研究発表会・第12回医療公開講座に参加して

門積 幸樹 会員（県立はりま姫路総合医療センター）

新型コロナウイルス感染症が5類となり1年が経過、今や手足口病が流行しつつあるなか、去年に続き第41回西播地区研究発表会が開催されたことを嬉しく思います。私は臨床検査技師として働き始めて2年目ですが、これまでに参加した勉強会は殆どがWeb開催でした。今回数年ぶりに分科会が開催され、西播地区の臨床検査技師の皆様と交流ができ、日頃の業務で悩んでいることなど意見交換ができました。

一般演題では、タスク・シフト/シェアで話題の皮下グルコース測定や生理検査（PSG、AABR）、貴重な症例報告など様々な演題があり大変勉強になりました。

医療公開講座では吉田先生・下本地先生に「脳波検査」や「本態性振戦・パーキンソン病」についてご講演いただきました。私たち臨床検査技師に限らず、市民の皆様にもわかりやすく興味深い内容であったのではないかと思います。

今回、西播地区研究発表会の開催をしていただきました皆様に感謝致します。

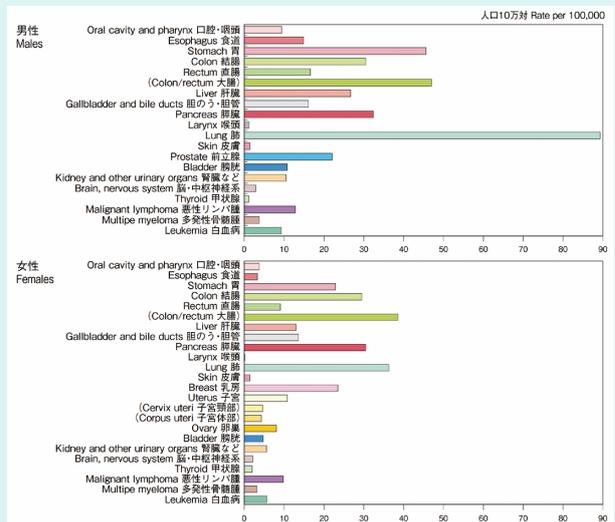


研究班

#皆さんこんにちは、血液研究班の神原です。

血液研究班では隔月で研修会を開催しています。「検査技術に関するミニ講義」と「症例検討会」の2本立てで、Zoomを併用したハイブリッド形式にて開催しています。血液内科の無い施設の会員にはちょっと敷居が高そうに思われがちですが、気兼ねなく多くの会員の皆さんに参加して頂きたいと考えています。なぜなら案外血液疾患の患者さんというのは多いからです。表をみてください。やはり皆さんのイメージどおり白血病の患者数は他の悪性腫瘍に比べて少なくみえます。しかしリンパ腫や多発性骨髄腫を併せて「造血器腫瘍の患者数」としてみるとどうでしょうか？男性では、前立腺癌、胃癌、大腸癌、肺癌に続く患者数となります。このほかにも、骨髄異形成症候群や特発性血小板減少症、巨赤芽球性貧血、播種性血管内凝固などあげればきりが無いほどで、血液疾患の患者さんは、決して少なくはないのです。また、高齢化に伴い造血器腫瘍の患者数は増加傾向にあります。労作時疲労感や全身倦怠感で来院された患者さんが急性白血病だったり、耳鼻科や皮膚科で生検したらリンパ腫だったなんて、珍しいことではありません。ぜひ、血液検査研修会に参加していただき一緒に知識を深めていきましょう。症例検討会ではZoomの投票機能を用いて形態のクイズを提示したりしています。標本回覧に参加していない施設の方でも十分に理解を深めて頂けるのではないかと考えています。血研究班員一同、兵臨技会員皆さんの血液検査研修会へのご参加を心よりお待ちしております。

神原 雅巳 会員（血液研究班）



(出典：国立がん研究センターがん情報サービス)

第4回

突撃！
となりの検査室

兵庫県立尼崎総合医療センター

《所在地》〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2丁目17-77

●概要

施設名	兵庫県立尼崎総合医療センター
病床数	700床
部署人数	技師/92人、その他/4人 男女比/1:3.8 経験年数/～5年目23人、～10年目19人、 11年目～54人
勤務体制	勤務時間/8:45～17:30 夜勤体制/当直2人体制
第三者認証	取得済み (ISO15189、病院機能評価)

●検査室で行っている検査領域

検体検査	採血、化学、免疫、血液、一般、微生物、遺伝子、輸血、病理
生理検査	心電図、呼吸機能、脳波、聴力検査、神経伝導速度、エコー(心臓(負荷、経食道含む)、腹部、乳腺、体表、頸動脈、上肢、下肢、関節、胎児) その他:アブレーション、TAVI、MitraClip、術中モニタリング

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	積極的にタスク・シフト/シェアに取り組んでいます。
詳細	生理検査ではアブレーション、TAVI、MitraClip、術中モニタリング、血液検査では造血幹細胞移植の細胞プロセッシング、採血室ではOGTT、一般検査では尿素呼吸試験に参画しています。

●新人教育について

新人教育の進め方	配属後に年間計画を作成し、業務到達度を確認しながら進めています。また新人一人ひとりに年齢の近いメンターを配置し、業務に関することから生活面までトータル的にサポートしています。
フレッシュな技師さんから一言	(大橋 侑加(血液・輸血検査担当)) 日々、学びの連続で充実しています。形態、FCMの情報、遺伝子異常が密接に関連し、診断に直結するところに、難しさと感じています。また、輸血検査は患者さんの命を守る重責で、身が引き締まる思いです。今後は更に専門知識を向上させ、臨床に貢献したいです。

●採血室の状況

台数	10台(ベッド3台)	採血数/1日	562人
構成メンバー	技師6人、看護師4人		



●検査領域

分野	検査機器	年間件数
採血	BC-ROBO	11,310
化学	TBA-2000FR3台等	4,185,534
免疫	ARCHITECT4台等	672,628
血液	XN9000、CP-3000 2台等	761,246
一般	US-3500、UF-1000等	185,763
微生物	Walk-Away等	99,285
遺伝子	GENECUBE等	2,143
輸血	VISION2台	39,834
病理	ULTLA、BOND-III等	22,195
心電図	フクダFCP-8800等	49,652
呼吸	フクダFUDAC-7C	3,024
神経生理	ニューロバックX1等	2,770
聴力	オーディオメータAA-H1	1,505
エコー	EPIQ、Aplio、Logiq等	24,667

●運用面での工夫など

- ・検体搬送は、病棟ではトレイライナー、救急及びオペ室ではダムウェーターを使用しています。
- ・純水製造セントラルシステムを採用し、検査室全体に純水を安定供給しています。
- ・採血と生理検査の受付を一元化し、患者動線の効率化を図っています。

●技師長より、読者へ向けて一言よろしくお願いたします

当センターが誕生して8年。これからは充実度を高めていく時期となりました。今後も高度専門医療に対応した検査体制を構築するとともに、職員ひとりひとりが「働きやすい検査室」「働きたい検査室」「働き甲斐がある検査室」を目指し進化し続けたいと思います。



微生物・病理



生理



生化学・血液



会員グルメ情報

数珠つなぎ 67

渡邊 穰士 会員
(関西労災病院)

今回ご紹介するお店は、【ラーメン専門 和心 武庫之荘店】です。阪急電鉄神戸本線「武庫之荘駅」の南口から徒歩4分の所にあります。2019年から毎年食ベログ百名店に選出されている人気のラーメン店で、尼崎市の武庫川にある【ラーメン専門 和心】の2号店になります。

店内はカウンター8席となっています。金曜日の夜と土曜日のお昼は混んでいることが多いので注意してください。

ラーメンの味は「煮干しブラック」と「追いがつお」の2種類あり、+200円でチャーシューを大盛りに出来ます。オーナーのこだわりで、麺以外のものは全て無添加無化調で作っており、自然の旨味を出すために材料にかなりこだわ

っているそうです。私のおすすめは「追いがつお」で、スープは鰹がしっかりと効いていながら雑味が一切なくさっぱりしており、素材の味が凝縮されていて、中太ストレート麺との相性は抜群です。ややレア気味のチャーシューはなめらかな食感で、肉の旨味をしっかりと感じる事ができ、何枚でも食べたくなります。また、ラーメンには珍しい「車麩」もトッピングされていて、スープをたっぷり吸った車麩は食感も味も絶品です。

私自身ラーメンが大好きで色々なお店に足を運びましたが、ここのお店を超えるラーメン屋は今後会えることはないだろうと言い切れるほどおすすめのお店です。(週に4回通う時もあります)

ぜひ足を運んで、至高の一杯を堪能してください。

《店舗情報》

店名	ラーメン専門 和心 武庫之荘店
住所	〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘1丁目22-23プラザ8番館1階
営業時間	11:30~14:30 18:00~20:00
定休日	土(夜)・日・月



追いがつおチャーシュー


Together for a better healthcare journey

シスメックスが提案するフローサイトメトリー検査



フローサイトメーター XF-1600 検体前処理装置 PS-10

フローサイトメーター XF-1600

医療機器届出番号:28B1X10014000009

検体前処理装置 PS-10

医療機器届出番号:28B1X10014000003

フローサイトメーター XF-1600、検体前処理装置 PS-10の両者をつなぐ専用ローターを用いることで、検体を並び替える煩雑な作業を省力化します。また、PS-10で読み取ったワークリストをXF-1600に転送することが可能であり、フローサイトメトリー検査の作業効率が向上します。



専用ローター

製造販売元
シスメックス株式会社
 本社 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1 〒651-0073

(お問い合わせ先)
 支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6337-8300 広島 082-248-9070 福岡 092-687-5380
 営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707 金沢 076-221-9363
 日本東アジア地域本部 03-5434-8565

www.sysmex.co.jp



注：記載がサイトの適用範囲は規格により異なります。
 詳細は www.buv.com のID:090589004 を参照。
 Note: Scope of site and address vary depending on the standard.
 For details, refer to the ID:090589004 at www.buv.com

2023年8月作成

Canon

私たちは、 「いのち」から始まる。

激動する世界で「いのち」の輝きこそが未来への希望であり、前へ進む力であるとキヤノンメディカルシステムズは信じています。

医療機器メーカーである私たちの使命は、尊い「いのち」を守る医療への貢献。創業以来、つねに医療関係者の方々と手を携え、数々の技術開発に挑んできました。その想いは、経営スローガン「Made for Life」として、世界中の社員一人ひとりの胸に変わることなく息づいています。

医療の現場を全力で支え、健康と「いのち」を守る臨床価値を創出するために、私たちはこれからも“いま”を拓き続けてまいります。

患者さんのために、あなたのために、そして、ともに歩むために。

Made For life

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jpn.medical.canon>



Z000059-02